

【評議員会議事録】

日 時：2011年2月5日（土）13：00～17：00

場 所：東京大学理学部1号館336号室

出席評議員：井上，岡村，奥村，海部，須藤，牧島，嶺重，劉，渡部，坂田，佐藤，杉山，谷口，筒井，望月，山田（以上16名）

欠席評議員：家，伊藤，池内，観山（以上4名）

その他，河合副理事長，本原・竹田庶務理事，

松尾・田代会計理事，宮下事務長，及び北山哲氏（研究奨励賞選考委員）が出席した。

なお，岡村理事長と杉山副理事長は評議員を兼任している。

I. 確認事項など I-1 議事に先立ち，出席者が16名で定足数を満たし，本会が成立することが確認された。また議長と署名人が以下のとおり選出された。

議 長：井上 一，署名人：奥村幸子，筒井 亮

I-2 新理事長である岡村評議員より，新執行部の紹介が行われた。

I-3 資料1に基づいて前回2010年9月23日の評議員会議事録の確認が行われた。

II. 報告

II-1 理事会報告（資料2，竹田）竹田庶務理事より資料2に基づいて，2011年1月22日に行われた理事会の報告が行われた。PASJの国際化をすすめるため編集委員に東アジアの著名な中堅天文学者を迎える案が説明され，特に異論は出なかった。

II-2 2011年度秋季年会開催地報告（山田）山田評議員より，東北大学で行われる2011年度秋季年会の準備状況について報告された。大きな問題はなく進んでいるが，地下鉄工事のため年会開始日前日に全学で断水停電となることが判明した。予定されている記者発表については代替地を用意しているので問題ない旨説明された。

II-3 事務所関係報告（資料3，宮下）宮下事務長より資料3に基づいて，事務所関係の報告が行われた。2010年版会員名簿に掲載された新役員名簿に間違いがあることが印刷配布後に判明し，訂正および謝罪文をtennetに流すとともに，天文月報に掲載する。

II-4 2010年度早川基金報告（資料4，竹田）竹田庶務理事より資料4に基づいて，2010年度早川基金について報告された。応募状況は，競争率が2倍程度であった。資料に記載された情報について，申請額のみが記載されており，今後は精算額も併記する事が確認された。

II-5 若手の会からの報告（当日配布資料，坂田）坂田評議員より当日配布資料に基づいて，前評議員会での検討事項となっていた，日本天文学会年会旅費補助制度の改善についての報告がなされた。特に，本当に旅費補助が必要な学生が恩恵を受けられるようにするため，募集要項で他財源がある場合の申請を控えるよう呼びかけ，他財源からの交通費の補充を禁止することにより，余裕のある人の申請を抑制するようにした旨報告された。これに対し，支給額増額の要望はないのかなどの質問，さらには学会として大学院生の発表者の旅費を保証することを最終的な目標とするべきではないか，目的を決めた寄付を会員などから募るのはどうか，そもそも大学院生の貧富の差が大きくなっていることが問題である，などの意見が出された。

II-6 学術会議の報告（海部）海部評議員より，学術会議の最近の状況が報告された。

2011年10月に会員の改選がある。現会員の海部および佐藤は改選され，再選はない。次会員が決まるのは6-7月であるが，学術会議の役割が明確になってきて影響力も大きいので注視してほしい。

昨年完成した，学術会議が提言した大型計画マスタープランは政府内で非常に大きな反響があり，科学政策決定の要ということで文科省も歓迎している。現在そのマイナーチェンジ中であるが，2年後には大改訂を行う予定であるのでその事についても考え始めている。

など

II-7 IAU関連報告（岡村）岡村評議員より，IAU関連の報告が行われた。現在日本のIAU会員数は第3

位であるので、積極的に関わって欲しい旨説明があった。これに対し、具体的にどのように関わればいいのか分かりにくいという意見が出され、基本的にはIAUのwebを見てほしい、定期的な報告は学会の総会で行っている、などの議論がなされた。

II-8 学生会員の身分確認について（竹田）竹田庶務理事より、昨年度の評議員会で報告された、すでに学生でなくなっているにもかかわらず届けを出さずに学生会員として登録されたままになっている会員がいるという件についてのその後の調査報告がなされた。「不正に学生割引会費で済ませている会員が多くいて学会側が損をしている」ということはないことが判明した。しかし、身分変更したか不明な会員も少なくないので、今年度より学生会員は会費納入の際に在学中である旨の自己申告を提出させることにした。また、卒業時に退会の手続きを行うよう若手の会からアナウンスするよう要請した。

III. 議題

III-1 2010年度事業報告書案（資料5, 竹田）昨年度の実業報告書案が竹田庶務理事より説明された。文科省からの指導により、各項目に対して定款のどこに対応するのかの説明などが今回から新たに追加されたことが報告された。また、大学院生の年会旅費補助制度について、旅費補助額を事前に知らせて欲しいという要望に対し、実際にそのように実施した旨の一文を追加したらよいのではないかという提案がなされた。これらの議論の後、事業報告書案が承認された。

III-2 2010年度決算報告書案（資料6, 田代）昨年度の決算報告書案が田代会計理事より説明された。

一般会計：会費収入およびPASJ収入が増収であったこと、星座早見盤に増刷がかかり臨時で収入があったのに対し、支出も伸びたものの、最終的に135万円の黒字であった。

特別会計：研究奨励賞、内地留学基金は新規収入がないためあと9年ほどで残額がなくなる。林 忠四郎賞基金は残額が多く、あと30年ほどは大丈夫である。その一方、早川基金については継続的な寄付がなされており、残額の心配はない。

これらの議論ののち、決算報告書案が承認された。

III-3 2010年度監査報告（資料7, 牧島）牧島監事より、2011年1月19日に国立天文台三鷹で紀伊恒男および牧島一夫両監事によって行われた監査結果が報告された。2010年度事業報告書案、2010年度決算報告書案ともに正当であると承認された。

III-4 2010年度各賞受賞者の決定

林 忠四郎賞・欧文研究報告論文賞（資料8, 井上）河合副理事長が退席後、林 忠四郎賞、欧文研究報告論文賞の選考委員である井上評議員より資料8-1に基づき、林 忠四郎賞の選考経過、及び最終候補者に河合誠之を推薦する理由が説明されたのち、同氏に授賞することを決定した。河合副理事長が復席の後、資料8-2に基づき欧文研究報告論文賞の候補論文2編についての推薦理由が説明され、推薦通りIshizaki et al. (2007)及びShimasaku et al. (2006)に授賞することを決定した。その後、PASJ編集委員会による欧文研究報告論文賞への推薦の手続きの現状とあるべき形などについて議論された。現在行われていない、論文引用数などの情報の選考委員会への提供について、選考委員会に考え方を整理するように求めることとした。

研究奨励賞（資料9, 北山）北山 哲研究奨励賞選考委員から、資料9に基づき、研究奨励賞の選考経過および候補者3名の推薦理由の説明がなされた。今回は7件7名の推薦があり、レベルは総じて高かったことが報告された。推薦理由についての議論の後、推薦通り、鈴木 建氏、長尾 透氏、馬場 彩氏の3名に授賞することを決定した。

天体発見賞・功労賞（資料10, 渡部）天体発見賞選考委員の渡部評議員より資料10に基づき、天体発見賞6名/グループ21件、及び天体発見功労賞9名10件の推薦理由が説明され、推薦通り授賞することを決定した。引き続き渡部評議員より資料10に基づき天文功労賞の長期部門1名、短期部門2名の候補者の推薦理由が説明された。推薦理由の議論の後、推薦通り授賞することを決定した。

III-5 2011年春季定期総会議題案（資料11, 竹田）竹田庶務理事より資料11に基づき、春季定期総会の議題案についての説明がなされ、一部表現を修正することを条件に承認された。

III-6 会費未納による除名者（資料12, 竹田）竹田庶務理事より資料12に基づき、2009,2010年度2

年分の会費未納による除名予定者のリストが説明された。2月中に会費の支払いがあった場合には取り消しも可能であることが説明され、承認された。

III-7 年会の参加費・登録料について（資料13, 竹田）

竹田庶務理事より資料13に基づき、準会員の年会講演登録料を一件あたり5000円に値上げを行う案が提案された。これに対し、アマチュアの発表を抑制することとなり、日本天文学会の基本的な考え方と相容れない、アマチュア会員の発表が準会員の発表のうちどの程度あるかを調べるべき、そもそも準会員になるかどうかは本人の自覚に基づくべきで金銭的な誘導は望ましくない、などの議論があり、結論には至らず今後も更に審議を継続することになった。それに向けて、年会発表での準会員発表状況と、特別会員と通常会員時代には差があったといわれている参加・登録費が、準会員と正会員のおなじになった経緯を調査することとなった。

つづいて、竹田庶務理事より年会の参加費・講演登録料を原則事前支払いする事を検討する案について説明された。これについて、会員の利益になるだろう、クレジットカード決済が可能になるようにしてほしい、などの意見が出され、事前支払いの検討を積極的に推進することが承認された。

III-8 公益法人への移行について（杉山）杉山副理事長より、公益法人への移行の検討状況について報告された。現在は会員による総会が意思決定の場となっているが、法人に移行した場合は社員総会を行い、社員半数以上の本人出席が求められる。この際委任状は認められない。現実的には現在の総会は維持できず、たとえば評議員会を社員総会とするなど、何らかの工夫をしないといけない。また、一般法人という可能性もあるが、寄付に対しての免税措置がないことから、寄付者のことを考えると公益法人を追求すべき。これらの件については整理し、改めて報告することとなった。また、次々回の定期総会で会員への説明を行う必要があることが指摘された。

次回の評議員会は、春季年会期間中、2011年3月17日に筑波大学で開催される予定である。さらに、次々回の評議員会の開催日時を2011年7月9日と決定した。

[資料リスト]

資料1 前回評議員会(2010/9/23)議事録

資料2 前回理事会(2011/1/22)議事録

資料3 事務所の近況報告

資料4 2010年度早川基金採択者リスト

資料5 社団法人日本天文学会2010年度事業報告書案

資料6 2010年度会計報告書案

資料7 監査報告書

資料8-1 林 忠四郎賞候補者推薦理由書

資料8-2 2010年度PASJ論文賞候補推薦理由書

資料8-3 2010年度欧文研究報告論文賞候補推薦理由書

資料9 第22回（2010年度）日本天文学会研究奨励賞候補者推薦理由書

資料10 2010年1月～12月期の天体発見賞・天体発見功労賞候補者の推薦/2010年1月～12月期の天体功労賞候補者の推薦

資料11 2011年度春季定期総会議題案

資料12 除名予定者リスト

資料13 年会における準会員の参加費・講演登録料について/講演登録料の事前支払いについて

配布資料 若手からの報告

配布資料 年会における準会員の参加費・講演登録料についての追加資料

2011年3月3日

議長：井上 一 印

署名人：奥村幸子 印

署名人：筒井 亮 印

